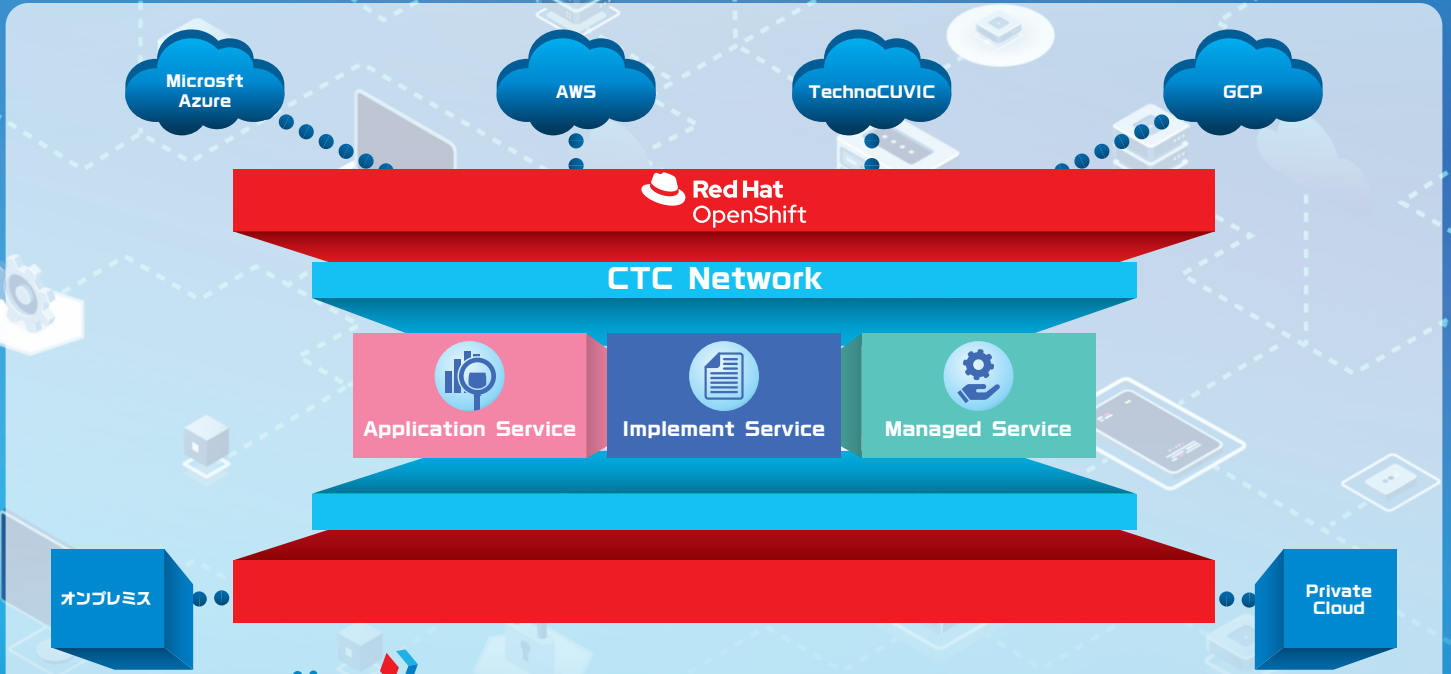


「C-Native」は、コンテナ型仮想化の、導入や移行、有効利用や運用支援などをパッケージ化したCTCのオリジナルサービスです。

企業のDX実現に向けたソリューションを、ハイブリッドクラウド、マルチクラウドの実現からサポート



C-Native 3つの特長

クラウドネイティブフォーカス

お客様がDXサービスの創出を促進する為に必要な、クラウドネイティブ技術・製品にフォーカスしたソリューション・サービスを通じて価値提供を行います

効率化にもとづいたサービス提供

自動化、自律化など、回復力の高い技術・方法論を活用を通じて、競争力を高めることで、お客様に提供するサービスの効率と品質の向上を目指します

ベストプラクティスの提供

CTC Lab等での検証・導入実績に基づいたベストプラクティスマテリアルの活用等を駆使する事で、お客様への迅速なサービスの提供を目指します

お客様に安心してDXをご利用いただけるC-Nativeの強み

クラウドの活用を検討されている企業に向けたソリューション

- ・コンテナ / クラウドネイティブをこれから活用したいお客様
- ・ハイブリッド・マルチクラウドを指向しているお客様

スピード



CTCのテンプレートから、素早くOpenShift実行環境を用意し、Managed Serviceを提供します。

- ◆ コンテナ実行環境構築
- ◆ 障害時の復旧
- ◆ 監視対応
- ◆ 運用(アップグレードなど)
- ◆ 開発時間
- ◆ デプロイ時間

クオリティ



CTCの実績とRed Hat社からのトランスファーに基づいたテクニカルなプラクティス運用を実現します。

- ◆ 高い回復力
- ◆ 自動拡張・縮退
- ◆ Enterprise Container管理
- ◆ 品質の高いOS
- ◆ 広範囲、高品質なサポート
- ◆ CTC実績を活かした運用

ベストプライス



OpenShiftを利用することで、リソースをより集約化し、サービスリリース、運用の自動化を加速させ、コストを低減します。

- ◆ 時間課金/月額課金
- ◆ サービス・リリースコスト
- ◆ 自動化、アウトソースによる運用コスト
- ◆ コンテナマイグレーション
- ◆ コンテナ化による集約化

OpenShiftとは? ~OpenShiftを選択する価値~ Public Cloud Managed K8sとの違い

Red Hatによるクラウドネイティブ製品のサポート

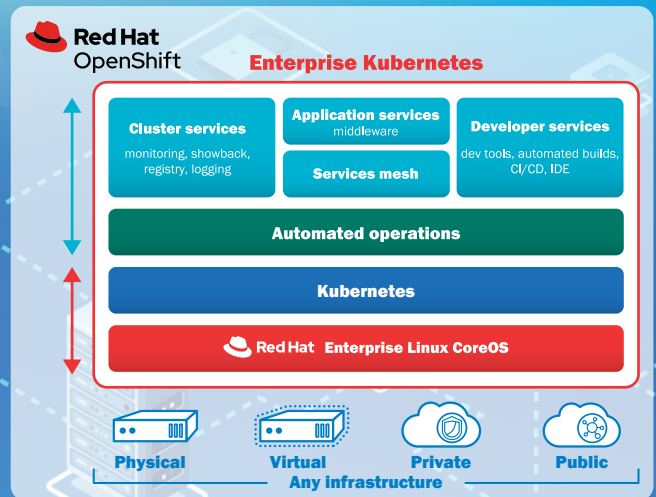
CNCFに支援されている最新Project や、コンテナに対応するISVのテンプレートを **Red Hat Ecosystem Catalog** 上で公式サポートを提供。開発生産性の向上に寄与

Operatorの標準サポート

K8s Clusterやコンテナ運用における知見をコード化し、パッケージ化したOSS。インストール、リソーススケーリング、BKUP、アップデート等の実行を支援する**Operator**を標準サポート

堅牢で安定したKubernetesの提供

Red Hat Core OS(RHCOS)と統合されたEnterprise KubernetesであるOpenShiftは、様々な基盤上でも抜群の安定性と高い品質を提供



ハイブリッドクラウド、マルチクラウドの実現をサポートする 多様なサービスラインナップ

Application Assessment Service



Application Assessment

既存のアプリケーションをコンテナ化するためのアセスメント・サービス



Function Service

お客様のご要望を踏まえた、OpenShiftやISVによる”Function”を提供



CI/CD

CI/CD(継続的インテグレーション / 継続的デリバリー)を提供

Implement Service



OCP Service & Subs

OpenShiftをサブスクリプションまたは、サービスライセンスとして提供



SI Support

設計、構築、設定などOpenShiftを安心して導入頂くためのサービス



Advanced Service

お客様固有のプロジェクト状況に応じてサービスをカスタマイズ

Managed Service



OPS Support

OpenShift有識者によるクラスター基盤の運用・保守業務を支援



SRE Support

CTC SRE チームがクラウドネイティブシステムの運用効率化を支援



Multi Cloud Management

RHACMによるハイブリッド・マルチクラウドのマネージメントを実現

